

三井物産とCCS事業性調査に関する覚書締結

2023年1月18日
関西電力株式会社

関西電力株式会社（本店：大阪府大阪市、代表執行役社長：森望、以下「関西電力」）は本日、三井物産株式会社（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：堀健一、以下「三井」）とCCS（Carbon dioxide Capture and Storage、CO₂の回収貯留）^{※1}のバリューチェーン構築を目指した、事業性調査に関する覚書を締結しました。

本覚書に基づき、三井物産と関西電力は、関西電力が運営する火力発電所から排出されるCO₂を対象として、関西電力が回収を、三井物産が輸送・貯留を主に担当しバリューチェーンを一気通貫した事業性等の調査・検討を行います。

関西電力は、「[ゼロカーボンロードマップ](#)」において「事業活動に伴うCO₂排出を2050年までに全体としてゼロとする」道筋を定めています。関西電力グループは、当検討を通じたCCSバリューチェーン構築を進め、お客さまや社会のゼロカーボン化に貢献していきます。

※1：CCS（Carbon dioxide Capture and Storage）とは、排ガスからCO₂を回収し、地中等に貯留する技術。

以上